

令和2年度 大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ(令和3年4月1日現在)

	主催事業(実施件数) (子ども読書の記念事業、大阪市図書館フェスティバル含まず)			区役所等主催行事への協力・参加(実施件数)				子ども読書の日記念事業(春)		大阪市図書館フェスティバル(秋)	
	絵本の読み聞かせ(含ストーリーテリング、紙芝居)	乳幼児向けおたのしみ会	その他(人形劇、工作教室など)	乳幼児健診時の読み聞かせ	区役所等主催のイベントでの読み聞かせ	絵本展	その他(講座、催し、図書貸出など)	内容	参加者数	内容	参加者数
中央図書館 (西区)	28	7	1	0	0	0	5	村上慧講演会 絵本『家をせおって歩く』について 3/14	39	第24回大阪アマチュア映像祭 10/25	66
										大阪市史稿纂所セミナー探ぞつ! 大阪市の歴史魅力第17回「新発見・旭区大宮神社の豊国大明神像について」 11/7	63
										木下昌輝講演会 11/8	65
										図書館120%活用術—もつとお得に使えるコツ、お話しします— 11/9	8
										蓮見恭子講演会(Osaka Book One Projectコラボ企画) 11/14	51
北図書館	22	5	2	0	0	0	1	冬のおたのしみ会 1/23	17	どんぐりんの人形劇とラブリーシアター 10/31	20
都島図書館	31	6	2	0	0	0	1	ちっちゃい! ふあいとのじかん 3/5	4	シフカ・プールカ 大人のためのほっこりおはなし会 11/3	10
福島図書館	63	1	4	9	0	0	0	ま〜るま〜るのびっくばこ 1/23	6	絵本であそぼ 11/3	12
此花図書館	14	0	5	17	0	0	4	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		秋の子ども会 10/24	9
										手作り・工作のコツ教室 11/17	7
島之内図書館 (中央区)	22	0	1	0	0	0	2	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		「ようこそ! 猫の国へ」展 10/1~11/29	-
港図書館	0	0	0	0	0	0	61	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		子ども古代生物読書会 10/17	0
大正図書館	25	24	1	0	0	0	2	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		おはなしボランティアアナンシのおはなし会 全2回	6
天王寺図書館	30	4	1	0	0	0	2	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		ぼちぼちのおはなし会 10/24	6
浪速図書館	23	7	4	0	0	0	11	「なにわえほんの会」冬のお楽しみ会 12/26	16	ぐるーぶぬ! 劇場 10/24	20
										ひとはことしょかん 11/28	8
西淀川図書館	4	4	1	0	0	0	14	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		秋の子ども会 11/3	23
										パタポンおはなし会 11/7・11/8	23
淀川図書館	15	8	4	0	0	0	4	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		おはなしくるりんパツ! 10/31	14
										朗読会—耳から広がる本の世界— 11/29	15
東淀川図書館	3	13	1	0	0	0	1	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		秋のおたのしみ会 びびよスペシャル 10/28	10
										どんぐりんの人形劇とラブリーシアター 11/14	15
東成図書館	27	7	4	0	0	0	7	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		秋のおたのしみ会 あんころもちの楽しい人形劇 10/18	29
										おはなしびっくり箱 11/14	22
生野図書館	8	7	3	0	0	0	1	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		秋の子ども会 ぐるーぶぬ! 劇場 11/1	14
										図書館de EGO「ふろしきエコバッグでエコライフ!」 11/23	7
旭図書館	15	3	1	0	0	0	0	どんぐりんの人形劇とラブリーシアター 1/23	15	たまゆらの朗読会 11/14	20
城東図書館	23	13	5	13	0	0	3	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		秋のこども会 11/7	12
鶴見図書館	18	7	2	0	0	0	4	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		“くみどり”の秋風ライブ 11/8	24
										蓄音器コンサート“大阪文学音聴囃” 11/14	8
阿倍野図書館	20	4	4	0	0	0	4	大きなおきなおたのしみ会 12/5・12/12・12/19・12/26	63	おとなのくつろぎスペース本の森 10/27	18
										パネルシアターをたのしもう 11/1	13
										おやこあそびのひろば 11/3	19
住之江図書館	11	4	2	0	0	0	0	えほんのじかん デラックス 12/25	18	えほんであそぼ! 10/31	19
住吉図書館	35	29	8	0	0	0	0	くすのきのおはなしのじかんスペシャル「もみのき」 12/19	24	パレットのおはなし会 午前の部・午後の部 11/8	40
東住吉図書館	25	4	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		秋のおはなし会スペシャル 10/17	16
平野図書館	25	14	1	0	0	1	0	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		キッズシアターかみふうせんのおたのしみ会 10/24	18
										平野の映像鑑賞会 10/25	40
										子育て世代のマナー講座 10/27	13
西成図書館	7	3	1	0	0	0	1	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		るんるん絵本のひろば 11/3	20
合計	494	174	58	39	0	1	128		202		803

【動画配信】

- ・第7回 One Book パンダ銭湯 読み聞かせ お風呂場編
- ・第7回 One Book パンダ銭湯 読み聞かせ 脱衣所編
- ・おさかしりつとよかんホームページからのよやくのやりかた
- ・浪速区文化とこどもON祭
- ・図書館紹介(YouTubeの阿倍野子育て支援連絡会アカウント)

	幼児期読書環境整備事業								学校との連携								学校図書館支援ボランティア向け講座		学校図書館実践交流会	ボランティア養成・ステップアップ		区の子どもの読書活動推進連絡会	自動車文庫ステーション数
	配本事業(実施施設数)				ボランティア派遣(実施施設数)				団体貸出件数(校数)	貸出冊数	図書館見学	調べ学習支援	おはなし会等読書支援	学校図書館整備支援(回数)	体験学習(人数)	図書館主任会への参加	回数	参加者(延人数)		回数	参加者(延人数)		
	幼稚園	保育所	認定こども園	その他子育て支援施設	幼稚園	保育所	認定こども園	その他子育て支援施設															
中央図書館(西区)	4	6	1	1	0	0	0	0	25	5,810	12	17	8	0	7	0	0	0	書面	20	787	書面	1
北図書館	3	12	1	8	0	0	0	0	11	2,313	4	37	2	0	0	0	0	0	書面	1	3	書面	4
都島図書館	1	5	1	3	0	0	0	0	10	3,435	2	15	33	0	0	0	2	16	書面	1	2	書面	3
福島図書館	2	9	2	2	0	0	0	0	7	1,154	8	24	1	0	0	0	0	0	書面	1	2	書面	1
此花図書館	1	5	0	3	0	0	0	0	7	690	3	6	4	0	0	0	0	0	書面	0	0	書面	4
島之内図書館(中央区)	7	5	0	3	0	0	0	0	7	1,368	2	11	3	0	0	1	0	0	書面	0	0	書面	1
港図書館	1	7	1	2	0	0	0	0	6	2,002	16	22	6	0	0	0	0	0	書面	1	9	書面	2
大正図書館	4	8	3	3	0	0	0	0	10	3,168	4	47	22	0	0	0	0	0	書面	0	0	書面	2
天王寺図書館	6	8	0	1	0	0	0	0	7	5,749	14	31	33	0	0	0	3	7	中止	3	7	書面	1
浪速図書館	2	10	0	4	0	0	0	0	7	1,953	4	3	19	0	0	0	1	9	書面	2	14	書面	1
西淀川図書館	3	10	3	10	0	0	0	0	12	3,629	4	21	17	1	0	0	1	0	書面	1	10	書面	4
淀川図書館	3	14	2	6	0	0	0	0	19	4,745	7	32	16	0	0	0	0	0	書面	4	34	書面	10
東淀川図書館	2	8	1	7	0	0	0	0	16	5,641	0	45	16	7	6	0	0	0	書面	0	0	書面	12
東成図書館	5	6	1	3	0	0	0	0	8	498	7	6	33	0	0	0	1	0	書面	2	5	書面	2
生野図書館	3	8	7	2	0	0	0	0	13	7,807	5	24	57	0	0	0	0	0	書面	3	35	書面	3
旭図書館	2	8	0	3	0	0	0	0	11	3,424	7	31	9	0	0	0	1	0	書面	0	0	書面	4
城東図書館	2	9	2	5	0	0	0	0	14	11,240	11	23	27	0	0	0	1	3	書面	0	0	書面	8
鶴見図書館	2	14	0	3	0	0	0	0	11	4,160	3	30	2	0	2	0	0	0	書面	1	5	書面	4
阿倍野図書館	1	6	0	2	0	0	0	0	6	1,694	2	20	0	0	0	0	1	0	書面	5	10	書面	4
住之江図書館	1	7	2	3	0	0	0	0	14	5,003	4	28	36	0	0	0	0	0	書面	2	5	書面	8
住吉図書館	3	10	4	5	0	0	0	0	14	3,342	11	27	11	0	0	0	0	0	書面	4	7	書面	8
東住吉図書館	0	10	1	5	0	0	0	0	14	3,758	5	28	37	0	0	0	1	0	書面	1	22	書面	5
平野図書館	6	13	1	7	0	0	0	0	25	4,751	4	61	19	0	0	0	1	1	書面	0	0	書面	11
西成図書館	2	11	0	4	0	0	0	0	5	1,049	2	12	8	0	0	0	0	0	書面	9	0	書面	2
合計	66	209	33	95	0	0	0	0	279	88,383	141	601	419	8	15	1	13	36		61	957		105

区における子どもの読書活動の取組みについて
(令和2年度取組み状況および3年度計画) (令和3年8月時点)

区名	事業名	取組み内容	第2次計画期間 (H25～29年 度)の実施状況	事業実施年度 (実施:○)				事業の対象 (主たる対象:○)				H30年度目標	R2年度末 状況		R3年度計画	各区役所 担当部署		
				H 30 年 度	R 元 年 度	R 2 年 度	R3年度 継続実施:○ 実施せず:× 内容変更:△ 新規:◎	乳 幼 児	小 学 生	中 学 生 以 上 未 成 年	保 護 者 等 成 人		自己 評価	実施状況				
北区	子育て支援ルーム絵本 読み聞かせ	子育て支援ルーム「Kikki(キッキ)」において、 「絵本の会北」による絵本の読み聞かせ	26～29年度実 施	○	○	×	△	○				○		×	コロナウイルス感染拡大の影響により、子育て支援ルームKikki(キッキ)の閉室を見送ったため。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、キッキの通年開設が困難であり、絵本の読み聞かせの実施内容は未定である。	福祉課 (子育て支援室)	
北区	子どもたちと考える平和 展	・映像資料の上映 パネル展示 ・資料展示(北区遺族会より借用) ・戦争、平和に関する絵本の展示、読み聞 かせ(絵本の会北)	29年度実施	○	○	○	△	○	○	○	○	○		○	・戦争に関するアニメの上映 ・戦争、平和に関するパネル・絵本・ 漫画の展示	戦争、平和に関する絵本・漫画の 展示(ワクチン接種相談窓口の開 設により、実施場所を縮小するた め。)	政策推進課 教育連携担 当	
都島区	(区広報での学校図書 館支援ボランティア募 集)	区の広報で学校図書館支援ボランティア募 集記事掲載	28～29年度実 施	○	○	○	○					○		○	取組み内容の実施	7月、11月の2回実施	7月、11月の2回実施	保健福祉課 (こども教育)
福島区	子育て講座 赤ちゃん広場	月1回開催。毎回0歳児の親子が70組～100 組参加。広場会場に手作りおもちゃコー ナーと共に絵本コーナーを設置し、赤ちゃん 向け及びお母さん向け、季節の絵本などを 展示する。区内保育所保育園の保育士や 図書館司書が絵本の読み聞かせを実施。	25～29年度実 施	○	○	○	○	○				○		△	・絵本の読み聞かせを聞いたり、展示 された絵本を手にとることで、保護者 自身が絵本を楽しみ、興味を持つ。 ・区の図書館実施の絵本の広場や、 図書館の利用方法を知る。	新型コロナウイルス感染症防止の 観点から絵本の展示や貸し出しは 見合わせる。区内保育園保育士や 支援センター職員との読み聞かせを 実施。	読み聞かせは引き続き実施。絵 本展示や貸し出しは、新型コロナ ウイルス感染症の感染状況を見 ながら実施方法を検討。	保健福祉課 子育て支援 室
福島区	(区広報での学校図書 館ボランティア募集)	区の広報で学校図書館支援ボランティア募 集記事掲載	28～29年度実 施	○	○	○	○					○		○	取組み内容の実施	3月号の広報紙に掲載	3月号の広報紙に掲載予定	保健福祉課 子育て教育

区における子どもの読書活動の取組みについて
(令和2年度取組み状況および3年度計画) (令和3年8月時点)

区名	事業名	取組み内容	第2次計画期間中(H25～29年度)の実施状況	事業実施年度(実施:○)				事業の対象(主たる対象:○)				H30年度目標	R2年度末状況		R3年度計画	各区役所担当部署	
				H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 継続実施:○ 実施せず:× 内容変更:△ 新規:◎	乳幼児	小学生	中学生以上未成年	保護者等成人		自己評価	実施状況			
此花区	えほんのひろばによっといで!	500冊以上の絵本の展示と読み聞かせ	25～29年度実施	○	○	△	○	○				○	年齢に関わらず自分で読んだり読んでもらったりして絵本の世界に触れ絵本を楽しむ。	○	絵本を図書館から借り受け、絵本の展示と読み聞かせに加え、保育士によるお楽しみ劇を実施	R3年度についても、R2年度と同様に実施予定。	保健福祉課(子育て支援グループ)
此花区	このはなポップくらぶ	年に2回、生後10か月までの乳児とその保護者に対して、数冊絵本の読み聞かせ	29年度実施	○	○	○	○	○				○	母親とのコミュニケーションによる精神的安定と、親子の絆を深めるため。	○	地域ボランティアによるの読み聞かせを2回実施。	R3年度についても、R2年度と同様に実施予定。	保健福祉課(保健活動グループ)
中央区	中央区まちじゅう図書館構想	中央区内には多くの「まちライブラリー」やブックカフェ等が点在しており、民間図書館の取組みをマップにより紹介し、区民が本に親しみ、人と出会い交流する場を拡げていく。	28～29年度実施	○	○	△	△	○	○	○	○	△	①「中央区まちじゅう図書館マップ」作成(28年度) ②参加施設の交流会開催(28・29年度) ③「中央区まちじゅう図書館マップ」掲載情報更新(30年3月)	△	「中央区まちじゅう図書館マップ」の窓口への設置 ※コロナ禍で情報更新が困難なため広報を縮小	・「中央区まちじゅう図書館マップ」の窓口への設置 ・区内公立小学校における読書活動の取組を状況把握する他、読書に取り組んだ児童等(学校長推薦)を表彰する等、今後の読書活動の促進に向けた取組を試行的に実施。	市民協働課(市民活動支援)
西区	多様な活動主体のネットワークづくり事業「えほんpicnic」	えほんpicnic実行委員会と共に、地域資源となる鞆公園を活用し、「都心の中で自然とふれあう」「人とふれあう」ためのきっかけづくりを目的に、絵本の貸出や読み聞かせ、ワークショップ、マルシェ出店などを実施	25～29年度実施	○	×	×	×	○	○	○	○	×	イベントを実施することで、西区の魅力向上につながると感じる参加者の割合:80%以上	×	新型コロナウイルス感染拡大に伴いオンラインイベントとして実施(区役所の「後援」なし)	実行委員会が主催で区役所は「後援」として実施予定	きずなづくり課
西区	食育なつまつり	展示コーナーでは食に関する絵本を展示し、自由に読むスペースを設置。「たべものシアター」ではボランティアによる食に関する絵本の読み聞かせやパネルシアターを実施。	26～29年度実施	○	○	×	×	○	○			×	健全な食生活を確立するため、乳幼児や小学生とその保護者を対象とした取組を行い、西区における食育の推進・普及啓発をする	×	新型コロナウイルス感染拡大に伴う開催見合わせ	新型コロナウイルス感染拡大に伴う開催見合わせ	保健福祉課

区における子どもの読書活動の取組みについて
(令和2年度取組み状況および3年度計画) (令和3年8月時点)

区名	事業名	取組み内容	第2次計画期間中(H25～29年度)の実施状況	事業実施年度(実施:○)				事業の対象(主たる対象:○)				H30年度目標	R2年度末状況		R3年度計画	各区役所担当部署
				H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 継続実施:○× 実施せず:× 内容変更:△ 新規:◎	乳幼児	小学生	中学生以上未成年	保護者等成人		自己評価	実施状況		
港区	地域の強みを活かした教育力向上事業(絵本ひろば)	絵本ひろばのコーディネーターやファンリテーターの講師謝礼等を区役所が負担し、学校で「絵本ひろば」を開催できるように支援し、子どもの主体的な読書活動を促進	25～29年度実施	○	△	○	○					学校で絵本ひろばを開催し、子どもの主体的な読書活動を促進	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施数は減少したものの、実施した学校においては、会場を広い教室に変更するなど工夫して実施した。コロナの影響で子どもの体験活動が減る中、貴重な機会となっている。	新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、継続実施。	協働まちづくり推進課(教育・人権啓発グループ)
港区	(区広報での学校図書館ボランティア募集)	区の広報紙、ホームページやチラシの配架により、学校図書館支援ボランティアを募集	26～29年度実施	○	○	○	○				○	区広報での学校図書館ボランティア募集	○	継続実施	継続実施	協働まちづくり推進課(教育・人権啓発グループ)
大正区	子育て応援フェア	区役所と区内の子育て関連施設とで構成される子育て支援ネットワーク連絡会により開催。子育てコンシェルジュによる子育て支援施設・制度の案内や、保育所・幼稚園一斉受付についての説明。図書館からの絵本展示。読み聞かせ実施。	28～29年度実施	○	○	×	△	○			○	子育て世帯に情報を発信するイベントのブースの中に絵本コーナーを設置し、図書館の認知と親子で絵本に親しむ。	×	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)	「子育て応援フェア」の開催が難しいため、主に保護者を対象とした情報発信イベント「子育て応援ウィーク」(資料の展示及び配布)を8月3～6日に開催する予定としているが、感染症拡大防止の観点から絵本コーナーは設置しない。	子育て支援ネットワーク連絡会(保健福祉課子育て支援室)
大正区	大正区親子のつどい	主任児童委員会で、地域の子育てサークルの紹介を兼ねて、遊びやゲーム、舞台発表をする。絵本の会大正が読み聞かせ等を20分×2回実施。	25、28～29年度実施	○	○	×	×	○			○	子育て世帯に情報を発信するイベントのブースの中に絵本コーナーを設置し、図書館の認知と親子で絵本に親しむ。	×	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)	保健福祉課
天王寺区	子育て支援事業	「あそびましょ～」の中で絵本・紙芝居・パネルシアターなどの読み聞かせの時間を10分くらい組み込んでいる。	27～29年度実施	○	○	○	○	○			○	絵本や紙芝居などを親子でいっしょに楽しむ	△	新型コロナウイルス感染拡大に伴い「あそびましょ～」開催が年間通して3回にとどまったが、参加親子には絵本を通してゆったりとしたふれあいの時間を持ってもらうことができた。	今年度も新型コロナウイルス感染拡大に伴い6月現在「あそびましょ～」は実施できていないが、感染状況をみながら可能な限り実施を予定している。	保健福祉課子育て支援室

区における子どもの読書活動の取組みについて
(令和2年度取組み状況および3年度計画) (令和3年8月時点)

区名	事業名	取組み内容	第2次計画期間 (H25～29年度) の実施状況	事業実施年度 (実施:○)				事業の対象 (主たる対象:○)				H30年度目標	R2年度末 状況		R3年度計画	各区役所 担当部署
				H 30 年 度	R 元 年 度	R 2 年 度	R3年度 継続実施:○ 実施せず:× 内容変更:△ 新規:◎	乳 幼 児	小 学 生	中 学 生 以 上 未 成 年	保 護 者 等 成 人		自己 評価	実施状況		
浪速区	地域子育てサポート ネットワーク事業 子育て サロン	子育てサロンの内容充実をはかる。 遊びの提供・絵本の読み聞かせを実施。	25～29年度実施	○	○	○	○	○				○	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休止期間もあったが、状況を見て再開したサロンは、読み聞かせを実施。	新型コロナウイルス感染症の影響を受け休止中のサロンもあるが、再開後は読み聞かせも実施予定。	保健福祉課	
浪速区	浪速区親子フェスタ	区役所と区内の子育て関連施設とで構成される子育て支援ネットワーク会議(通称:なにわっ子ネット)により開催。図書館ボランティアグループの出演による5月の「音楽会」、地域ボランティア団体が参加する8月「親子サマーフェスタ」(おもちゃ作り・ゲーム・あそび・絵本展・絵本読み聞かせ等)と、1月「親子えほんフェスタ」(絵本展・読み聞かせ等)の年3回。	25～29年度実施	○	○	×	△	○				○	・子育て中の親同士の交流の促進 ・子育てへの負担緩和	8月「親子サマーフェスタ」・1月「親子えほんフェスタ」とともに新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止。	8月「親子サマーフェスタ」は11月に延期し内容を変更して開催予定。1月「親子えほんフェスタ」は開催予定。	子育て支援ネットワーク会議(保健福祉課子育て支援室)
浪速区	浪速図書館活性化事業	浪速図書館において、子どもから大人まで多様な住民が気軽に立ち寄り、交流の輪が広がり、人と人がつながる図書館をめざして、館内レイアウトの変更やソフト、ハード両面から図書館の活性化を進める。実施にあたっては、事業主体である市教育委員会と連携しつつ、区民ニーズを踏まえ、取組みを進めていく。	—				◎	○	○	○	○	○	・浪速図書館の活性化に関する取り組みとして、具体的な改善案をとりまとめ、一部改修を行った(自習スペースやミーティングスペース整備の為にテーブルやキャレルの設置、子どもの居場所の環境整備としての会議室の更新など) ・区政会議委員等への意見聴取、区内在学高校生・中学生へのオンラインアンケートの実施。	・若年層を含めた多様な住民が気軽に立ち寄れるよう、館内レイアウトの変更やソフト・ハード両面から環境整備に取り組み。 ・区広報紙や区HPでの広報などを通じて浪速図書館の魅力発信に努める。	市民協働課(教育・学習支援担当)	
西淀川区	図書に親しみ多世代が 交流する環境作り事業	児童生徒の教育水準の向上や若者から高齢者まで世代を超えた生涯学習を推進していく上で、身近な場所に手軽に図書に親しむ又は自習を行えるような環境を整備していくために、本区では平成25年度末から2か所(姫里地域・佃地域)に「に～よん文庫」という図書・自習スペースを設けている。に～よん文庫はボランティアによる運営を行っており、平成27年度からさらに1か所(川北地域)が開設している。	25～29年度実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	図書に関心を持っている区民の割合:30%以上	新型コロナウイルス感染拡大の影響で長期間休止としたため、その後の利用者も減少した。今後、利用者が戻るよう、さらに周知啓発などの取組みが必要となっている。区民アンケートにおいて「あなたは図書に関心を持っていますか」という設問に対し、55.8%が「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答。	引き続き、「に～よん文庫」の運営等を通じて、区民に図書についての関心をもってもらい、また、多世代交流を進めていく。	地域支援課(地域支援)

区における子どもの読書活動の取組みについて
(令和2年度取組み状況および3年度計画) (令和3年8月時点)

区名	事業名	取組み内容	第2次計画期間中(H25～29年度)の実施状況	事業実施年度(実施:○)				事業の対象(主たる対象:○)				H30年度目標	R2年度末状況		R3年度計画	各区役所担当部署
				H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 継続実施:○ 実施せず:× 内容変更:△ 新規:◎	乳幼児	小学生	中学生以上未成年	保護者等成人		自己評価	実施状況		
西淀川区	えほん展ふわふわ	年1回2日間開催している。当初西淀川区民会館が会場であったが、近年は西淀川区役所を会場としている。1000冊以上の絵本展示、各コーナーでのボランティアによる読み聞かせやイベントを行う。各子育て支援関連施設、ボランティアの方々、図書館などが協力して実施している。	25～29年度実施	○	○	△	△	○	○	○	○	△	◎「子育て支援関係機関(子育て支援センター・地域連携事業)」の一つとして、第13回えほん展を実施する予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。そのため、親子でえほんを楽しむ際の参考とするため、「えほんだいすき!」という絵本を紹介するパンフレットを作成し、区内の保育園・幼稚園・小学校に配布しました。	えほん展については、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の状況が許せば開催の方向性で準備しています。	保健福祉課(こども福祉)	
淀川区	母親教室(妊婦教室)	1コース3回のうち参加者の交流の回次に、読み聞かせの時間を設ける。	25～29年度実施	○	○	×	×				○	年4回	× 実施せず	実施計画なし	保健福祉課(健康相談)	
淀川区	生涯学習推進事業「ものがたりのちから」	絵本の読み語りのプログラムや絵本コーナーを設置するなどし、絵本の魅力、区、自然や歴史、世代間で伝えたいことを、さまざまな形の「ものがたり」として子ども達に伝えていくことを目的としたイベントを実施する。	25～29年度実施	○	○	△	△	○	○	○	○	アンケートにおいて、「暮らしや地域での活動に活かせる」との回答70%以上	× 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より開催を中止したため、アンケート未実施。開催に代えて、淀川区YouTubeチャンネルにて読み聞かせ動画「お家で絵本を楽しもう♪」を公開。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より開催を縮小し、開催予定。	市民協働課	
淀川区	生涯学習推進事業「学校図書館ボランティア講座」	区内小中学校を拠点に活動する学校図書館ボランティアの新たな担い手発掘を目的として、読書と子どもの関わりに興味のある区民を対象に学校図書館ボランティア活動の研修を行い、また既に活動中の学校図書館ボランティアを対象に学校の図書室で活動するために役立つ知識や技術を身につけるための研修を行うことにより区における子ども達の読書環境の充実につなげる。	27～29年度実施	○	○	×	△				○	アンケートにおいて、「暮らしや地域での活動に活かせる」との回答70%以上	× 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より開催を中止したため、アンケート未実施。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より開催を縮小し、実施予定。	市民協働課	
東淀川区	ブックスタート事業	平成25年11月より当区で絵本を選定し、3種類から養育者の希望する絵本を配布するとともに、実施場所も8施設に増やした。	25～29年度実施	○	○	○						確認中			保健福祉課	

区における子どもの読書活動の取組みについて
(令和2年度取組み状況および3年度計画) (令和3年8月時点)

区名	事業名	取組み内容	第2次計画期間中(H25～29年度)の実施状況	事業実施年度(実施:○)				事業の対象(主たる対象:○)				H30年度目標	R2年度末状況		R3年度計画	各区役所担当部署
				H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 継続実施:○× 実施せず:× 内容変更:△ 新規:◎	乳幼児	小学生	中学生以上 未成年	保護者等 成人		自己評価	実施状況		
東淀川区	絵本読み聞かせ事業	家庭での絵本読み聞かせ習慣の定着を促進するため「笑顔いっぱい 絵本いっぱい 東淀川」を合言葉に次のとおり取組みを行っている。 ・登録ボランティアによる1歳6か月児・3歳児健診時の絵本読み聞かせ(ボランティアバンク) ・区民からの寄贈絵本の募集(絵本バンク) ・区役所、出張所庁舎内に来庁者用の絵本コーナーを設置 ・活動の集大成となるイベント「東淀川えほんまつり」の開催(年1回) ・絵本や読み聞かせの楽しさを伝える内容のリーフレット作成(年1回) ・区内保育施設等と連携したざぶとん読み活動の普及及び大学と連携した効果検証の実施、等	25～29年度実施	○	○	○	○	○	○	○	○	アンケートにおいて、「暮らしや地域での活動に活かせる」との回答70%以上	△	①事業の円滑な普及・実施のための企画立案及び実施内容の検証 ②活動の集大成となる啓発事業(イベント)の開催については新型コロナウイルス感染拡大の影響により規模を縮小して実施。 ③絵本の管理(絵本バンク)及び活用。また、新型コロナウイルス感染拡大の対策として絵本の郵送貸し出しを実施。 ④絵本読み聞かせボランティア(ボランティアバンク)の名簿管理及び養成については新型コロナウイルス感染拡大の影響により未実施 ⑤広報活動 ⑥親子のふれあい・つながりが深くなることをめざした読み聞かせ(ざぶとん読み)の普及は新型コロナウイルス感染拡大の影響により一部未実施。 ⑦関係機関との連携・協働 ⑧区役所及び大阪市が実施する子育て事業等との連携	①事業の円滑な普及・実施のための企画立案及び実施内容の検証 ②活動の集大成となる啓発事業(イベント)の開催。 ③絵本の管理(絵本バンク)及び活用と引き続き新型コロナウイルス感染拡大の対策として絵本の郵送貸し出し。 ④絵本読み聞かせボランティア(ボランティアバンク)の名簿管理及び養成については新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施予定なし。 ⑤広報活動 ⑥親子のふれあい・つながりが深くなることをめざした読み聞かせ(ざぶとん読み)の普及 ⑦関係機関との連携・協働 ⑧区役所及び大阪市が実施する子育て事業等との連携	保健福祉課(子育て・教育グループ)
東成区	子育てネットワーク構築支援事業「子育て応援隊さんぽっぽ」	子育て中の保護者が子どもと一緒に楽しみながら各子育てサークルや子育てイベントで遊びを提供するボランティア活動(パネルシアター、大型絵本読み聞かせ、手遊び等)	27～29年度実施	○	○	×	×	○	○	○	○	ボランティアが主体性をもって、子育て支援できるスキルを身につける。	×	事業廃止	事業廃止	保健福祉課
東成区	東成区子育てふれあいサークル大集合	区民ホールでの乳幼児と保護者、マタニティ世代向けのイベント。図書館のブースとして絵本コーナーを設けている。	25～29年度実施	○	○	○	○	○	○	○	○	地域の子育てサークルや子育て支援施設の周知、子育て中やこれから親になる人同士の交流の促進	×	新型コロナウイルス拡大に伴う開催見合わせ	新型コロナウイルス拡大に伴う開催見合わせ	保健福祉課
東成区	ひがしなりっ子 すくすく・つながるランド	各子育て機関等の紹介、区内幼稚園・保育園の5歳児によるうたの発表、親子ふれあい遊びなど。図書館のブースとして絵本コーナーを設けている。	25～29年度実施	○	×	×	×	○	○	○	○	①地域の子どもたちの未来を考え、未就園児の保護者に乳幼児期の大切さを意識してもらう機会にする。 ②未就園児の子どもたちに遊びを提案し、家庭での遊びのヒントにしてもらう。 ③子育て支援機関や地域全体で子育てを応援していることをしてもらう。	×	子育て支援機関や地域全体で子育てを応援していることをしてもらうために新規イベント「ひがしなりっ子すくすく・つながるフェア(保育園(所)・幼稚園・認定こども園等合同説明会)」開催。このイベントでは図書館ブースは設けず。	R21に同じ	保健福祉課

区における子どもの読書活動の取組みについて
(令和2年度取組み状況および3年度計画) (令和3年8月時点)

区名	事業名	取組み内容	第2次計画期間中(H25～29年度)の実施状況	事業実施年度(実施:○)				事業の対象(主たる対象:○)				H30年度目標	R2年度末状況		R3年度計画	各区役所担当部署	
				H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 継続実施:○ 実施せず:× 内容変更:△ 新規:◎	乳幼児	小学生	中学生以上未成年	保護者等成人		自己評価	実施状況			
東成区	にこにこ広場	月1回6カ月の乳児と保護者を対象に、絵本の読み聞かせを行う。		×	×	◎	○	○					○	コロナの影響を受け、8月より月1回、読み聞かせを実施。	月1回、読み聞かせを実施。	保健福祉課	
東成区	子育てネットワーク構築支援事業	子育て中の保護者が子どもと一緒に楽しみながら各子育てサークルや子育てイベントで遊びを提供する(パネルシアター、大型絵本読み聞かせ、手遊び等)		-	-	-	◎	○					-	-	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休止から事業再開されたサークルを巡回し読み聞かせを実施(11校下のサークル対象)	保健福祉課	
生野区	生きる力を育む絵本プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 3か月健診時のブックスタート事業の紹介 「にこにこいくのっこだより」での絵本紹介 絵本イベント(H30年9月22日開催) 絵本ボランティアの養成 キッズルーム(授乳室あり)の環境整備 絵本ボランティアによる3か月及び1歳6ヶ月健診時の絵本の読み聞かせ 区役所庁舎各階窓口待合に来庁者用の絵本棚を設置 	29年度実施	○	○	○	○	○				○	<ul style="list-style-type: none"> 絵本ボランティア養成 (10人以上) ボランティアの活動場所としての事業やイベントの構築1つ以上 区役所の各窓口で待ち時間を活用した子供向け絵本が読める環境づくりにより絵本の普及を図る。 3ヶ月健診後に希望者にブックスタート事業を実施し早期の絵本の普及と親子の読み聞かせ習慣の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でボランティアの活動ができなかった中で、絵本紹介小冊子「いくみんのほんだな」を作成し、広報紙に絵本紹介をするなど、家庭でできる絵本に対する興味を持てるような環境づくりを行ってきた。 	ボランティア活動・養成、区役所内での環境づくりは継続して行い、絵本紹介の小冊子「いくみんのほんだな」のリニューアルにより、絵本に興味を持てる環境を整備する。	保健福祉課	
生野区	学校支援ボランティア人材バンク事業	学校図書館支援ボランティアも含む学校支援ボランティア人材バンク事業の募集を区のHP等で掲載	28～29年度実施	○	○	○	○	○	○				○	学校図書館支援ボランティアも含む学校支援ボランティア人材バンク事業の募集を区のHPに掲載した。学校図書館の開館支援で3名活動中。	継続実施	地域まちづくり課	
旭区	保健福祉課のキッズコーナー	窓口での待ち時間に子どもさんが過ごせるキッズコーナーを2階に設けているが、季節に応じて絵本を入れ替える等して親子で絵本に親しみ楽しんでもらっている。	25～29年度実施	○	○	×	×	○	○				×	新型コロナウイルスの影響により、令和元年度末よりスペースの利用を中止している。	新型コロナウイルスの状況を考えながら、キッズコーナーの利用方法を検討していく。	保健福祉課	
旭区	ブックスタート事業	区内のブックスタート拠点のなかった地域への拠点の設置、ブックスタートの実施	29年度実施	○	○	○	○	○					○	<ul style="list-style-type: none"> 城北地域での年4回実施 新森地域で拠点設置 	昨年度に引き続き、城北地域及び新森地域にて、年4回開催することができた。	継続して、城北地域及び新森地域での実施を行っていく。	保健福祉課

区における子どもの読書活動の取組みについて
(令和2年度取組み状況および3年度計画) (令和3年8月時点)

24

区名	事業名	取組み内容	第2次計画期間中(H25～29年度)の実施状況	事業実施年度(実施:○)				事業の対象(主たる対象:○)				H30年度目標	R2年度末状況		R3年度計画	各区役所担当部署
				H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 継続実施:○ 実施せず:× 内容変更:△ 新規:◎	乳幼児	小学生	中学生以上未成年	保護者等成人		自己評価	実施状況		
旭区	子育て支援事業	イベント開催時に旭図書館の協力で絵本コーナー(絵本展示・読み聞かせなど)を設置する。	-	○	○	×	×	○				○	×	新型コロナウイルスの影響によりイベントがすべて中止となった。	新型コロナウイルスの状況を考えながら、実施を検討する。	保健福祉課
城東区	絵本で子育てみんなで子育て事業	<ul style="list-style-type: none"> 図書館、子育て支援施設と連携した、絵本の読み聞かせ会や絵本展の開催 11月を「絵本読み聞かせ月間」として図書館、子育て支援施設、子育てサロンなど地域の子育て支援施設と連携し絵本の読み聞かせなど絵本に関する取り組みを実施 区役所ロビーでの絵本展の開催 大人向けの絵本のお話と読み聞かせ会を開催 絵本スポット 子育て中のママやパパが絵本をきっかけに子どもと一緒に楽しみ、先輩ママ・パパに身近な相談ができる場、気軽に立ち寄れる場所として、区内事業所・飲食施設等に絵本を設置 	26～29年度実施	○	△	○	○	○				○	<ul style="list-style-type: none"> 絵本スポットとして窓口に絵本を設置。 子育て支援施設等と連携し絵本スポットとして読み聞かせなど取り組みを行う。 11月を絵本月間とし、各支援施設にて絵本にちなんだ取り組みを行った。 絵本イベント開催の実施 ○読み聞かせとふれあいあそび ○講演会 ○絵本作家の絵本ライブ 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本スポットとして窓口に絵本を設置。 子育て支援施設等と連携し絵本スポットとして読み聞かせなどに取り組み。 11月を絵本月間とし、各支援施設にて絵本にちなんだ取り組みを行う。 絵本イベントの開催 ○読み聞かせとふれあいあそび ○講演会 ○絵本作家の絵本ライブなど 	保健福祉課(子育て教育)	
鶴見区	「つるみっ子ルーム」での読み聞かせ	区役所内「つるみっ子ルーム」で保育士による月1回の「おたのしみ会」(絵本の読み聞かせ等)を開催。	27～29年度実施	○	○	○	○	○				○	×	絵本の読み聞かせや親子のふれあい遊び等を通して、親子の関わり方をしらせる。	新型コロナウイルス感染拡大に伴う開催見合わせ中	保健福祉課(子育て支援室)
鶴見区	「つるみっ子ルーム」への絵本の借受け	鶴見図書館から、月1回30冊の絵本をお借りし、区役所内「つるみっ子ルーム」に配架。	-	○	○	○	○	○				○	×	多くの絵本を配架することで、身近に絵本にふれていただき、親子の関わりを密にさせていただく。	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、借受け中止中。終息すれば、再度借受けを開始	保健福祉課(子育て支援室)
阿倍野区	親子フェスタ	親子フェスタのイベント会場内に、「絵本コーナー」の部屋を設けて、複数のボランティアグループによる絵本読み聞かせ＋ミニ絵本展(内容は図書館が適宜選定)を実施	25～29年度実施	○	○	×	×	○				○	×	取組み内容の実施	新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みてイベントを中止する	阿倍野区保健福祉課子育て支援

区における子どもの読書活動の取組みについて
(令和2年度取組み状況および3年度計画) (令和3年8月時点)

区名	事業名	取組み内容	第2次計画期間中(H25～29年度)の実施状況	事業実施年度(実施:○)				事業の対象(主たる対象:○)				H30年度目標	R2年度末状況		R3年度計画	各区役所担当部署
				H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 継続実施:○ 実施せず:× 内容変更:△ 新規:◎	乳幼児	小学生	中学生以上未成年	保護者等成人		自己評価	実施状況		
阿倍野区	あべの食育祭	あべの食育祭のイベント会場内に「絵本コーナー」を設けて、『食育』に関する絵本の展示や読み聞かせを実施	27～29年度実施	○	○	×	△	○	○	○	○	図書館が選定した絵本の展示やリストの配布、読み聞かせを通して普及活動を実施	△	コロナの影響により取組み内容を変更。BCG接種日に合わせ、食育に関する絵本を掲示し、食育に関するリストを配布。	取組み内容は令和2年度と同様。令和3年度は3歳児健診日に合わせ、実施予定。	食育祭・保健福祉課(地域保健担当) 絵本コーナー・保健福祉課(子育て支援担当)
阿倍野区	学校図書支援ボランティア人材募集	学校図書館開放にかかる支援等、サポーターとして学校で活動いただける方の登録制度。 区広報・区HPに学校図書館支援ボランティア募集記事を掲載。	28～29年度実施	○	○	○	○					区広報での学校図書館支援ボランティア募集	○	区広報・区HPにてボランティア募集記事掲載	8月号の区広報・区HPにてボランティア募集記事掲載	市民協働課 教育支援担当
住之江区	あいあい相愛おはなしのへや	「咲洲ウェルネスタウン計画」に掲げた南港ポータウンの魅力向上の取組みの一つ。 住之江区と包括連携協定を締結している相愛大学(子ども発達学科)との協働プロジェクト。 おはなし隊(相愛大学学生)による様々な形(劇や紙芝居、エプロンシアター等)での絵本の読み聞かせ。	27～29年度実施	○	○	○	○	○				子育て層の地域住民が図書等に親しみ、気軽に交流できる環境の創出	○	7月～2月にかけて、4回実施した。	7月～2月にかけて、4回開催予定。	協働まちづくり課
住之江区	保健福祉課の待合絵本コーナー	窓口での待ち時間や対応時に、子どもさんが絵本に親しめるよう、定期的に絵本を入れ替え展示する。	25～29年度実施	○	○	○	○	○	○	○		取組み内容の実施	○	住之江図書館と連携し月1回の絵本入れ替えを実施。	子育て支援室の保育士が、季節に合わせた絵本を選んで展示予定。	保健福祉課
住之江区	南港地域乳児健診での絵本紹介	南港地域の乳児健診で、図書館職員が絵本紹介を行う。	25～29年度実施	○	○	○	○	○				取組み内容の実施	×	コロナにより絵本等の撤収あり実施できず。	コロナの状況に合わせて地活・支援室・図書館の連携により乳幼児健診にて実施予定。	保健福祉課

区における子どもの読書活動の取組みについて
(令和2年度取組み状況および3年度計画) (令和3年8月時点)

区名	事業名	取組み内容	第2次計画期間中(H25～29年度)の実施状況	事業実施年度(実施:○)				事業の対象(主たる対象:○)				H30年度目標	R2年度末状況		R3年度計画	各区役所担当部署
				H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 継続実施:○ 実施せず:× 内容変更:△ 新規:◎	乳幼児	小学生	中学生以上未成年	保護者等成人		自己評価	実施状況		
住吉区	市立小学校学校図書館活性化事業(司書資格者の派遣)	区内小学校のうちモデル校3校(平成27・28年度は2校)に週2～3回、図書館司書を派遣し、読み聞かせや調べ学習などの図書授業を行っている。モデル校以外の希望する学校にも出張授業を行っている。	27～29年度実施	○	○	○	○					派遣校で、導入後のアンケートにおいて「読書が好きである」と回答した児童の割合80%以上	○	モデル校3校よりアンケート回収、すべてのモデル校アンケート結果で目標80%以上を達成。	取組み内容のとおり継続実施	教育文化課
東住吉区	学校支援ボランティア人材バンク	学校図書館開放にかかる支援等、サポーターとして学校で活動いただける方の登録制度	27～29年度実施	○	○	○	○					学校の多様な活動希望条件に対応できるように人材確保	○	「東住吉区学校支援ボランティア人材バンク」を実施し、登録者を募集	令和3年度より、東住吉区魅力ある学校づくり応援団制度に基づき、活動いただける方を募集	区民企画課
東住吉区	子育てOHえんフェスタ	区民ホールでの乳幼児向けのイベント。図書館のブースとして絵本コーナーを設けている。	25～29年度実施	○	○	×	×	○				取組み内容の実施	×	新型コロナウイルス感染拡大に伴う開催見合わせ	新型コロナウイルス感染拡大に伴う開催見合わせ	保健福祉子育て支援室
東住吉区	保健福祉課のキッズコーナー	窓口での待ち時間に子どもさんが過ごせるキッズコーナーを設けていて、そこに図書館から貸し出しを受けている絵本や保護者向けの育児書を展示し手にとって見たり、読み聞かせをしたりして絵本に親しみ楽しんでもらっている。	26～29年度実施	○	○	×	×	○	○			取組み内容の実施	×	新型コロナウイルス感染拡大に伴いキッズコーナー閉鎖中	新型コロナウイルス感染拡大に伴いキッズコーナー閉鎖中	保健福祉子育て支援室
東住吉区	(区広報誌等での学校図書館支援ボランティア募集)	区広報誌などで11月号・区ホームページに学校図書館支援ボランティア募集記事を掲載。また、地域での学校図書館支援ボランティア募集ちらしの回覧を依頼。	-	○	△	×	△					取組み内容の実施	×	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止	区広報誌などで11月に学校図書館支援ボランティア募集記事を掲載	区民企画課
平野区	平野区子ども学力サポート事業	児童の学習支援と居場所づくりのために、教員をめざす大学生を中心に(地域のボランティアも含む)小学校へ派遣し、学習習慣の定着をはじめ、子どもたちに「生きる力」を身につけてもらえるよう支援する。支援内容は各学校が求めにより異なり、「読み聞かせ」や学校図書館への支援の事例もある。	25～29年度実施	○	○	○	○					参加児童のうち「以前より学ぶことが楽しい」と感じる児童の割合70%以上	○	令和2年度も区内全22校に学力サポーターを派遣し、読み聞かせや学校図書館の支援を行った。		政策推進課

区における子どもの読書活動の取組みについて
(令和2年度取組み状況および3年度計画) (令和3年8月時点)

区名	事業名	取組み内容	第2次計画期間 中(H25～29年 度)の実施状況	事業実施年度 (実施:○)				事業の対象 (主たる対象:○)				H30年度目標	R2年度末 状況		R3年度計画	各区役所 担当部署	
				H 30 年 度	R 元 年 度	R 2 年 度	R3年度 継続実施:○ 実施せず:× 内容変更:△ 新規:◎	乳 幼 児	小 学 生	中 学 生 以 上 未 成 年	保 護 者 等 成 人		自己 評価	実施状況			
平野区	平野区読書習慣の定着事業	読んだ本のタイトルを記録できる「ひらちゃん読書ノート」(1～4年生用、5～6年生用・中学生用)を作成し、1～4年生は100冊以上、5～6年生・中学生は3000ページ以上を読んだ児童には、区から表彰する。また3～5歳児用の「ひらちゃんえほんふれあいノート」も作成している。	29年度実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童・生徒の読書習慣や家庭学習・生活習慣が向上したと感じる小・中学校の割合50%以上	○	令和2年度の表彰者数は、小学校、中学校とも事業開始以来最多となった。特に小学生の到達率は26.2%と、全児童の4分の1を超えた。		政策推進課
平野区	「ひらちゃん図書」の自由貸出	平野区役所と北部サービスセンターの庁舎内に「ひらちゃん図書」を設置。窓口での待ち時間に読んでいただくほか、返却期限を設けない自由貸出しを行うことで、読書に親しんでいただく。	29年度実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	貸出し図書の確保と円滑な運営	○	本は、職員、地域の個人、団体などから随時寄付を受けており、現在の登録数は約5,700冊で、貸出し図書が不足したことはない。		政策推進課
平野区	絵本展の開催	平野図書館やクラフトパークと共催で、年2回、平野図書館より距離的に遠い長吉、瓜破地域で「絵本展」を開催。読み聞かせ等のイベントも実施している。	29年度実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	年2回の開催	○	コロナ禍であったが、感染症対策を行い、人数に留意しながら予定通り開催した。		政策推進課
西成区	西成区こどもの読書活動推進支援事業	読書活動を行うきっかけづくりとして、読書カードを全児童生徒に配付する。 対象者が4月1日～翌年1月31日までに読了する目標冊数を設定。 目標読了冊数 小学校1年・2年 100冊 小学校3年・4年 70冊 小学校5年・6年 50冊 中学校1年～3年 50冊 通年実施のうえ、年度末に年間の読了冊数に応じて賞状を贈呈する。 ・年間目標を達成した児童生徒に賞状授与 ・区分ごとに読了冊数が最多の者に表彰状及び記念品授与 なお、対象となる本は、学校図書館・西成図書館・移動図書館で貸出されているものを基本とする。	28～29年度実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	目標冊数を達成する児童生徒が、全児童生徒数の5%を超える。	○	読書カードの配付を原則廃止。各校の独自様式や希望校には当分の間は読書カードの在庫を配付し、表彰制度のみ継続する。 昨年度に引き続き読書カードの配付を原則禁止。各校の独自様式を基本としつつ、希望校には読書カードの在庫を配付し、表彰制度のみ継続する。		保健福祉課 (子育て支援)

区における子どもの読書活動の取組みについて
(令和2年度取組み状況および3年度計画) (令和3年8月時点)

区名	事業名	取組み内容	第2次計画期間中(H25～29年度)の実施状況	事業実施年度(実施:○)				事業の対象(主たる対象:○)				H30年度目標	R2年度末状況		R3年度計画	各区役所担当部署	
				H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 継続実施:○ 実施せず:× 内容変更:△ 新規:◎	乳幼児	小学生	中学生以上未成年	保護者等成人		自己評価	実施状況			
西成区	にしなり子育て情報誌ハギッズ	図書館での絵本おたのしみ会・区内ブックスタート日・絵本紹介などを2ヶ月に1回発行。	28～29年度実施	○	○	○	○					○	身近に絵本に出会える場を紹介し、絵本に親しむきっかけとする。	○ 奇数月に発行	奇数月に発行	保健福祉課(子育て支援)	
西成区	子育ての集い	区役所と区内の子育て関連施設で構成される「わが町にしなり子育てネット」により開催(区役所は後援)。 図書館や区内子育て施設職員による絵本の読み聞かせを実施。イベントのブースの中で図書館によるぐりとぐらなりきりコーナーを設置したり、絵本ボランティアによる大型絵本・パネルシアター等の紹介。	28～29年度実施	○	○	×	△	○				○	図書館・子育て支援施設の認知と親子で絵本の世界を楽しむ。 子育てへの負担緩和。	×	R2年7月9日(木) 新型コロナの影響で実施せず	R3年7月8日(木) (新型コロナの影響により規模を縮小して実施。子育て支援施設情報の提供のみで各コーナーのイベントは行わず)	保健福祉課(子育て支援)
西成区	にしなりあそぼパーク★Project	区役所と区内の子育て関連施設で構成される「わが町にしなり子育てネット」により開催(区役所は後援)。 図書館や区内子育て施設職員による絵本の読み聞かせ・パネルシアターを実施。	25～29年度実施	○	○	×	×	○	○	○	○	○	イベントのブースの中で絵本を楽しむコーナーを設置し、図書館・子育て支援施設の認知と親子で絵本に楽しむ。 子育てへの負担緩和。	×	6月げんきまつりを予定していたが、新型コロナの影響で実施せず	R3年6月5日(土) (緊急事態宣言再延長で中止)	保健福祉課(子育て支援)

各区 子どもの読書活動推進連絡会のまとめ

区ごとに年に一度、「区子どもの読書活動推進連絡会」を開催して、関係者間で情報交換を行っています。令和3年度は2年度と同様、新型コロナウイルス感染拡大防止（以下、「コロナ」）のため、書面形式での開催とし、各区の各施設、団体の令和2年度の活動状況や報告事項、相談事項などを事務局にて聞き取り集約し、図書館からの報告と併せてご報告して、連絡会に代えさせていただきました。本まとめでは、いただいた意見等の中から、多くの区で話題になり関心が高かったこと、今後の子ども読書活動の推進に参考になると思われる事例やアイデアをご紹介します。

なお大阪府では、令和2年4月7日から5月21日、令和3年1月14日から2月28日、4月25日から6月20日、8月2日から9月30日に緊急事態宣言が出されています。その間、多くの施設での活動が規模縮小・延期・休止・中止等になり、様々な新型コロナ感染症対策（以下、「コロナ対策」）が講じられています。

1 連絡会への参加を要請している機関・団体等

【読書活動支援ボランティア】各ボランティアグループの代表者（推薦された者）

【地域を拠点として活動する組織、グループ、地域活動の担い手など】（地域の実情に応じて要請）

ボランティア・市民活動センター（旧ボランティアビューロー）、生涯学習推進員、民生委員・児童委員、児童いきいき放課後事業地域指導員、学校元気アップ地域本部地域コーディネーター、はぐくみネットコーディネーター、子育てサークル、子育て支援サークル、まちライブラリー、こども文庫など

【子育て支援施設】子ども・子育てプラザ、つどいの広場、子育て支援センターなど

【就学前施設】公・私立幼稚園、保育所、認定こども園など

【学校】教育研究会 各区学校図書館部担当理事・教育メディア部担当理事（管理職）、司書教諭、学校図書館主任など（代表出席）

【区役所】教育担当、子育て支援担当、保健福祉担当、生涯学習担当など

【事務局（各区市立図書館）】館長または担当係長、司書職員、学校図書館補助員コーディネーター

2 子どもの読書活動について

(1) 読み聞かせ等、読書推進の現場で（主にボランティアの報告・意見）

- ・定例会が開催できなくなり、電話・メール・SNS等でメンバーと連絡をとり、意欲を失うことなく前向きな気持ちでいられるようにした。
- ・おはなし会の多くが中止になり時間に余裕ができたので、特に新しいメンバーを対象に大型絵本の紹介や読み方の勉強、手袋人形、エプロンシアター、パネルシアター等の紹介をした。また、これらを通して従来のメンバーも勉強、練習が出来た。
- ・オンライン会議で打ち合わせをし、勉強会は人数制限を守りながら実施した。
- ・読み聞かせ実施の際は、グループを分けて分散しての開催とし、マスクをつけ、子どもは椅子に座

- り、演者は立って読み聞かせをする等、ソーシャルディスタンスを心がけて実施した。
- ・大型絵本を活用し、マスクをした状態でも聞き取りやすい声が出るように発声した。
 - ・ガラス展示を行う、協働で動画を撮影するなど、対面で子どもたちと触れ合うことができなくても、絵本や図書館に興味を持ってもらえるよう心がけた。
 - ・人数制限をしての行事は寂しいかと思ったが、聞き手一人一人の反応がよくわかった。

(2) 子育て支援施設等の現場で

- ・ブックスタートは4月・5月が休止となった。またボランティアによる絵本の読み聞かせが休止となった。
- ・ブックスタートの募集定員が少なく、翌月まわしになることが続く積み残し状態の中で、引っ越し等のご事情のある方には絵本のみ引き換えを行った。
- ・コロナ対策のため、定員を減らしてブックスタートを行っている。
- ・コロナ対策のため人数制限を行い、子育て講座やお楽しみ会等を実施した。
- ・令和2年3月より施設内の本は片付け、貸出中止とした。子どもたちには表紙等が拭ける本のみをスタッフが読み聞かせし、回収して全体を拭く等している。低年齢児はなめてしまうこともあり、スタッフが注意して見るようにしていた。
- ・絵本を提供していない時期があったが、やはり親子で絵本を楽しんでほしいということになり、開所時間を3部制としていたため、3部に分割して絵本を提供した。使用後は殺菌庫に入れた後、2時間は置いて提供しないようにしていた。
- ・近隣施設の協力を得てインスタライブで本の読み聞かせや人形劇、紙芝居等の配信を行い、録画分を見ることで利用者が自宅で都合のよい時に参加できるようにした。
- ・ボランティアグループによる読み聞かせを休止したが、図書館から借りた本と施設で用意した本を自由に閲覧できるように配置し、子どもたちが自分で本を選び安全に楽しめる環境作りを行っている。
- ・許諾を得て絵本の読み聞かせや、わらべ歌や手作りおもちゃ等の動画配信を行う。
- ・図書館から絵本を配本してもらい、広場の中で自由に読めるように配置すると、保護者の膝の上で絵本を嬉しそうに読む子どもの姿や、絵本を通して親子の会話を楽しむ姿が見られた。
- ・劇団の上演する人形劇の原作本を会員に紹介し読書推進に努めた。
- ・図書館司書に講演を依頼し、絵本の選び方、与え方、読み方等を具体的に保護者の方に伝えてもらう講座を開催した。

(3) 就学前施設・学校現場で（就学前施設・学校・事務局の報告・意見）

- ・保護者向けに毎月発行しているおたよりで、年齢ごとに推薦絵本を掲載している。
- ・読み聞かせ前に手指消毒をするよう呼びかけた。
- ・週に1度、絵本の貸出をした。家庭で絵本に親しみ、絵本カードに借りた絵本のタイトルや子どもの様子を保護者に記入してもらった。
- ・月1回“おひざ絵本”の日を設けている。保護者と一緒の園内で、おひざにのるなどして、触れ合いながら絵本を読む時間としている。
- ・絵本を題材にした表現遊びをする等、絵本等を取り入れた保育を進める事で、新しい発見や試みがあった。
- ・ピアノを弾いて音楽にあわせて絵本の読み聞かせを行っている。

- ・コロナ対策のため、プロジェクターや書画カメラを活用する等しておはなし会を実施した。
- ・読書記録ノート、読書手帳、読書通帳等を配布した。また、読書冊数の多い児童に表彰状を授与したり、プレゼントを渡すなどした。
- ・絵本の読み聞かせ動画、本の紹介動画を図書委員会が作成して配信した。
- ・本の人気投票、読書ビンゴ、ビブリオバトル等を行った。
- ・国語科と連携して5分間の「味見読書」に取り組んだ
- ・図書館の本をバーコード化することで、本を借りやすくするための準備を進めている。
- ・朝読書、読書タイム等の読書をするための時間を設定している。
- ・学校図書館補助員と教員が連携してコロナ対策を行いながら図書館開放を行っている。
- ・教員による全児童への読み聞かせ「読書リレー」を放送やテレビ会議による形式で実施した。
- ・コロナ下で教室にいる時間が長くなり、読書に取り組む時間が増えた。
- ・活動に制限がある分、読書をする機会は多くなると考え、これまで通り図書の時間を確保した。ただし、集合形式の読み聞かせ等は休止し、簡単な紹介文をつけた本の福袋企画や委員会活動での少人数での読み聞かせ等を行った。
- ・学校図書館補助員がソーシャルディスタンスをとるための足型を作成して設置した。
- ・学校図書館の蔵書をブックトラックに並べ、各クラスの廊下に配置した。

(4) 区役所での取組み（区職員からの報告・意見）

- ・希望する学校に読書カードを配布している。
- ・年間読書目標冊数を達成した児童を表彰している。
- ・キッズコーナーの絵本の冊数を減らす等、コロナ対策を行いつつ手に取りやすいよう展示した。
- ・企業からの寄付申出をいただき、子育てサロンにつなげることで地域の読書活動の支援を提案した。
- ・包括連携協定を結ぶ相愛大学との協働プロジェクト「あいあい相愛おはなしのへや」として、大学で2か月に1回の頻度で年6回、おはなし隊（相愛大学学生）による絵本の読み聞かせを行っていたが、令和3年度は回数を年4回にした。
- ・「大阪市4歳児訪問事業」にて就学前までに必要な生活習慣を身につけるための健康教育を実施するとともに、事業効果を高めるために4歳児全児への絵本配布を実施した。
- ・イベント開催時に、開催時間の短縮・少人数での開催・入口を2か所に分けて分散等の工夫をした。
- ・イベントが中止となったため、親子で絵本を楽しむ際の参考になるよう「えほんだいすき！」という絵本を紹介するパンフレットを作成し、区内の保育園・幼稚園・小学校に配布した。
- ・区役所のキッズコーナーにある絵本をコロナ対策のため利用中止とし、自由に絵本を読んでもらう機会が少なくなったが、窓口に来られる小さなお子様連れの方には、お子様の様子を見ながら個別に絵本を貸出するなど、お待ちいただく時間の工夫をしている。
- ・乳児検診の際、保育士が絵本の読み聞かせを行った。
- ・区民が気軽に絵本に触れられる小さな絵本図書館を運営し、読み聞かせ等のイベントを開催している。
- ・緊急事態宣言の間、絵本図書館は休館しているが、登録会員について申請があれば絵本の郵送による貸し出しを実施し、今後オンラインによる読み聞かせ講座を複数回実施予定。
- ・絵本展「ものがたりのちから」を予定していたが、区役所での開催は中止した。既存の「淀川区YouTubeチャンネル」を利用し、絵本の読み聞かせ動画を配信した。
- ・浪速図書館の活性化に関する取組みとして、浪速図書館・中央図書館などと連携し、「子どもから

大人まで多様な人が気軽に利用し、交流の輪が広がり、人が繋がる図書館」のコンセプトに基づく具体的な改善案をとりまとめ、一部改修を行った。(ミーティングスペースや自習スペースの整備、設備の改修など)

- ・区民アンケート(まちの魅力スポット、市民活動の交流拠点としての図書館の位置づけ)や区内在学高校生・中学生へのオンラインアンケート(認知度、重要ポイント)を実施し、それぞれのニーズを把握した。

3 子どもの読書活動において、相談したいことやアイデアについて

(1) 読み聞かせ等、読書推進の現場で(主にボランティアの報告・意見)

- ・対面での練習が不可欠であるが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置期間中は、会場の人数制限があり、会員全員の練習時間を作ることが難しい。
- ・ボランティアの経験から子どもたちがとても喜んだ絵本を、面展台を借りて並べるとか、季節にあわせて紹介するなどといった取り組みしてはどうか。
- ・昨年度からコロナ禍により学校訪問ができない状況が続いている。このまま小学校との縁が途切れるのでは、と不安がある。
- ・活動休止中にメンバーのモチベーションが下がることが心配である。
- ・子どもの年齢、月齢、発達にみあった絵本の選び方を知りたい。

(2) 子育て支援施設等の現場で

- ・子育て支援施設の休業期間中も気軽に絵本に触れ合ってもらえる機会として、読み聞かせなどの動画配信の案内など情報提供してもらえると嬉しい。
- ・本が苦手な子どもに読書を勧めても、逆効果にしかならないと思うので、好きにならなくても少しでも興味を持ってもらうには、一人ひとりの子どもが興味をもてる遊びや言葉、キーワードが書かれている本を手渡してあげる事が、一番効果があるよう思う。
- ・ソーシャルディスタンスを保つために距離を取っているため、絵本は色や形がハッキリと分かりやすいものを選ぶようにしている。それでも、コロナ対策をしながら、読み聞かせや絵本の貸出を行うのは難しいと感じている。
- ・こんな時だからこそ、子どもや保護者にもっと絵本への関心を持ってもらうために何か出来ないかと思っている。
- ・図書館ならではの読書活動を教えてほしい。絵本の会による読み聞かせ活動も早く再開されることを願っている。
- ・「保護者が読んでいる時に、最後まで興味をもって聞くことができる」ことが、「絵本のよみきかせに適した時期である」と、思っている保護者が多いように感じる。
- ・子どもの発達段階に応じて適切な言葉がけを行うことによって子どもの豊かな読書習慣が身についていくことを広く保護者に伝えたい。
- ・保護者に読書の楽しみを知ってもらい、保護者から子どもにいろいろなおすすめ本を紹介してほしい。

(3) 学校現場で(主に教員・事務局の報告・意見)

- ・貸して戻ってきた絵本の消毒・除菌について必要性や方法について知りたい。
- ・読み聞かせの際のコロナ対策について知りたい。
- ・コロナ下でも実施可能な、読書の推進に繋がる図書委員会の活動事例があれば知りたい。
- ・コロナ禍で、ボランティアの方たちに来ていただけない状況が続いている。コロナ前まで長く続いていた毎週の読み聞かせも、図書館開放もできなくなっている。早く再開しないと活動が途切れてしまうのではないかと危惧している。
- ・デジタル書籍の利用について知りたい。
- ・本の修理の仕方を知りたい。
- ・低・中・高それぞれに人気の本や読みやすい本などの具体的なものがあれば教えてほしい。
- ・読書が苦手な子どもたちでも楽しんで読書に取り組むことのできる工夫が知りたい。
- ・外国語を母語としている子どもたちへ少しでも母語の本を、と調べたが、手に入りづらい。図書館で入手できるのだろうか。
- ・外国にルーツをもつ子どもが多く、日本語の理解が難しいため、文字数が多い物語絵本を一緒に楽しむことができない。今クラスで楽しんでいる絵本を中国語等に訳して読んでくださるボランティア事業等はないか知りたい。
- ・「成長するにつれ読書離れがすすむ」というのは昔からの課題。動画・電子書籍以外での取組みがあれば教えてほしい。
- ・図書館主催で学校教育での読書活動に関する研修会を開催してほしい。
- ・何をを読んだらいいのかわらないという生徒の数が少なくないので、どのようにしたら本を手取るようになるかを知りたい。
- ・教室でも、隙間時間などいつでもすぐに本を手取れる環境を整えていくことが読書活動を推進することにつながると思う。
- ・保護者が、子どもが本を読むようになったという実感を得られていないと感じる。
- ・国語科等で、並行読書に使う図書をそろえようにも、中身の確認ができないので、購入するのなかなか難しい。教科書が変わり、掲載されている本も変わったので、何を優先で購入すべきか迷っている。図書館から団体貸出で借りる本は学習に適した本が多いので、そのリストを公開すると購入すべき本か判別がつきやすくなるかと考えている。
- ・PowerPoint を活用しておすすめの本の紹介や読書クイズを掲示して交流をすることを考えている。
- ・学校での貸出傾向をみると、低学年では絵本が多くを占めるが、中学年以降になると9類が減り、4類の「サイバイバルシリーズ」等が目立つ。「読書」は9類中心と捉えるのか、興味があれば分類は問わないのか悩む。
- ・忙しい生徒が多く、本を読む時間がないのが悩みどころ。

(4) 区役所での取組み（区職員からの報告・意見）

- ・今年度より新たに開催する「にこにこあかちゃん広場」で、絵本の読み聞かせに取り組む。より低年齢児期から体験ができる様すすめていきたい。
- ・中央区役所においては、区内小学校での読書活動を促進するため、令和3年度から各学校の特色を活かした読書活動の取組についての状況把握とともに、学校長から申請のあった児童を区長が表彰するなどの取組みを試行的に進め、次年度以降の事業内容を検討していくこととしている。
- ・コロナ禍が長引き、学校図書館の利用が従前より低調となっていると思われるので、様々な工夫をこらし、図書館利用の向上を目指したい。

- ・浪速図書館の更なる活性化をめざし、R3年度は、若年層を含めた多様な住民が気軽に立ち寄れるよう、館内レイアウトの変更やソフト・ハード両面から環境整備に取り組む。また、浪速図書館の一室を夏休み期間中に自習室として中・高校生対象に無料で開放する事業をR3年度に実施する。
- ・絵本を通して親子の触れ合いを深め、親同士のコミュニケーションを広げるきっかけづくりのために、絵本フェスタのような親子で楽しめるイベントをこれからも開催していきたいと思う。
- ・図書館ホームページ等に、簡単・楽しくなる家庭での絵本の読み聞かせ方法や絵本の紹介があれば、各区のホームページとリンクを張ったりできるかと思う。

4 「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」策定について

(1) 読み聞かせ等、読書推進の現場で（主にボランティアの報告・意見）

- ・もし、現状のような事態が続くなら、読書や絵本の大切さは一層増すと思う。
- ・各地域の図書館が重要な読書の拠点である事を今回のコロナ禍で感じた。
- ・「読み聞かせは肉声、対面するのが第一」その通りだと思う。しかし新型コロナウイルス感染症が広がるいま、先が読めず、今日のような状況になった時を想定すれば、インターネットやデジタル化も必要になってくると思う。そのための講座が必要なのではないか。
- ・どうしたら子どもたちの読書離れに歯止めをかけることができるのか？読書をすることで得られる成果のためではなく、ただ楽しい、面白いと感じるだけでよいと思うが、教育の場では成果が問われるのだろう。だからこそ成果、教育等に関係のない私たちが「本の楽しさ」を伝えていけたらと思う。
- ・一番大事なことは、周りの大人に読書習慣があることだと思う。身近な大人が、全く本を読んでいないのに、子どもが本を読むわけがない。
- ・インターネットやデジタルの活用という意見があるが、それに賛成する。現代の子どもにとってはスマホ、パソコン、タブレットは便利な道具。うまく活用すれば、読書の癖がつくのでは。
- ・子どもたちが自分の興味のある本を気軽に手に取れる環境が必要だと感じた。
- ・デジタル化も必要だが、両方の良さを取り入れ、偏らないようにすることが大切ではないだろうか。
- ・コロナ対策をしながらの限られた条件の中でも、各団体の横のつながりを増やし、取組みや工夫を共有し、またその成果を報告しあうことで、子どもたち、保護者にとってよい読書環境が保たれるのではないか。

(2) 子育て支援施設等の現場で

- ・新型コロナウイルス感染症の収束がなかなか見えないので、推進計画を進めることは難しいと思われるが、保護者や子どもの期待が高いので、積極的な取組みを期待している。
- ・インターネットやデジタルの活用も大事だと思うが、今だからこそ、絵本でのふれあいも大事にしたい。
- ・読み聞かせ、ブックスタートは「本」への入り口となり、子育て親子が家庭でも本に触れ合い、読書活動へとつながっていく重要な位置づけだと考えている。
- ・社会福祉協議会と図書館が連携し、絵本の読み聞かせや読書交流会等を行い、その場に、地域の高齢者も参加できれば世代間交流の場となり相乗効果になるのではないか。
- ・大人も子どもも読書に興味関心が持てるよう、読み聞かせ等のきっかけづくりを、引き続き行って

いこうと思う。

- ・読み聞かせは肉声・対面するのが第一との意見について。確かにインターネット経由よりも雰囲気や熱気は伝わりやすいが、通常の大さの本だと端や後方の子どもは見えない。また、大人数が苦手な子どももいるので、第一、との表現は強すぎるのではないか。せめて、「大きい画面に映す・個別に配慮した上での」などと加えて、肉声・対面するのが第一、としてほしい。
- ・ブックスタートや地域の図書館などで、外国語の本を充実させるか、日本語の本に QR コードなどを貼りつけるなどして、外国語のサイトにつながるようにはできないか。
- ・「乳幼児親子の絵本とのつながりづくり」が、子どもの「本が好き」のきっかけの一つになると思う。親子の子育ての記録として、母子手帳が大切にされるように、絵本の記録を残せるものがあればと思います。
- ・コロナ下で在宅時間も増え、読書に取り組むきっかけになっていることもあり、読書の楽しみを再認識された人も多かったと考えられるので、これをきっかけに、家庭で読書に取り組むことを習慣化してもらえればと期待する。

(3) 学校現場で（主に教員・事務局の報告・意見）

- ・子どもたちが本に親しみ、読書から豊かな感性が育つことを願っている。たくさんの本に出会える機会を作ってほしい。
- ・学校図書館において、「学習・情報センター」としての機能と役割が有効活用されるよう、児童生徒はもちろんのこと、教員の教科指導にも役立つような資料を取り入れていくよう努めていきたい。
- ・デジタル書籍と活字書籍の活用について、読書習慣をつけさせ、また豊かで文化的な生活の一助として、何をどのように推奨していくべきなのかを、そのメリット、デメリットを整理し発信していく必要がある。
- ・「本を読みなさい。」と言うより、読書の魅力を伝えることが、推進計画の中心になると思う。『読書感想検定』や『ビブリオバトル』を、大きなエリアで定期開催する等も検討できるのでは。
- ・学校では、大人も活用できる読書環境整備をし、学校内に保護者や地域の人が自由に入り、本に触れることのできる空間をつくる。家庭では、親が本を読む姿を子どもに見せること。親が本に夢中になる姿こそが、子どもへの読書に興味を持たせる一助となると考える。
- ・ヤングアダルト層に訴えるような楽しい企画（例：書評漫才）が継続してあればいいと思う。
- ・動画等のコンテンツが身近にある子どもたちにとって、本というのは、もしかしたら、疲れるものなのかもしれない。漫画すら読めない子どももいる。それでも「想像力」を育むうえで一番の近道は読書だと思うので、本を紹介し合うような取組みがもっと広がれば、本を手にとるようになるのかもしれない。
- ・読解力がなく本を楽しめない子もいる。本を読まないから読解力が身に付かないと考えるより、読解力をしっかり身に付けさせ、本の楽しさを伝えていけるよう、学校として学力向上に取り組んでいかないといけないと思う。
- ・ゲームばかりになっている児童は、学校の図書の時間以外で本を読むこともあまりなく、子どもを読書にどう結び付けていけるかが課題だと思う。
- ・デジタルを好む傾向が強いので、デジタルを活用しながら、読書への関心を高められるような工夫ができないか。
- ・学校の読書活動を推進させるには、図書担当の教員の働きかけが大きい。

(4) 区役所での取組み（区職員からの報告・意見）

- ・子どもの頃に、絵本に触れたり読み聞かせの体験をする等、本の楽しさを味わった子どもは、自分から読む習慣が付きやすいので、幼い頃から、絵本に触れられる環境をどう作るかも大切なことだと思う。
- ・子どもだけでなく、保護者等、子どもを取り巻く大人の読書活動の充実を図っていくことも重要ではないか。
- ・育児相談で、親子のふれあいタイムや寝る前の儀式として、絵本の読み聞かせの大切さを話している。地道に読み聞かせの大切さを話し、気づいてもらう。
- ・コロナ下での「新たな生活様式」のもとで、学校や家庭における読書環境の変化を余儀なくされる中、子どもたちが従前どおり読書を楽しめる環境づくりが必要。
- ・子どもだけでなく、子どもを取り巻く大人の読書活動の充実を図っていくことも重要ではないか。コロナ下で大人が従前より家庭にいる時間が増えている今こそ、家族ぐるみで読書に慣れ楽しむ好機だと思う。
- ・乳児期から、テレビやYouTube等の動画ではなく、子どもたちが直接絵本に触れ、身近な人に読んでもらいながら触れ合うことで、絵本の楽しさや読んでもらうことの心地よさを感じ、絵本に親しむことにつながっていくのではないかと思う。
- ・耳で絵本を聴くことも、子どもの想像力を高める一つ的手段。見せることにこだわり過ぎず、コロナ禍が過ぎるまで、今までと違った絵本の提供の仕方もある必要だと思っている。